

ウッド・チェンジへの取組

令和6年9月25日
林野庁



参加団体等・研究機関・企業における取組等について（目次）

【団体等】

一般社団法人日本経済団体連合会	2
日本商工会議所	3
一般社団法人住宅生産団体連合会	4
全国建設労働組合総連合	5
一般社団法人JBN・全国工務店協会	6
一般社団法人日本建設業連合会	7
公益社団法人日本建築士会連合会	8
一般社団法人日本ビルディング協会連合会	9
一般社団法人全国木材組合連合会	10
一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会	11
一般社団法人日本林業経営者協会	12
全国市長会	13
全国町村会	14
みなと森と水ネットワーク会議	15
公益社団法人国際観光施設協会	16
一般社団法人日本プロジェクト産業協議会	17
公益財団法人日本住宅・木材技術センター	18

【企業】

東京海上日動火災保険株式会社	19
日本マクドナルド株式会社	20
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	21
ヒューリック株式会社	22
SMB建材株式会社	23
株式会社大林組	24
株式会社シェルター	25
住友林業株式会社	26
株式会社竹中工務店	27
東急建設株式会社	28
ナイス株式会社	29
前田建設工業株式会社	30
三井ホーム株式会社	31
三菱地所株式会社	32
三井不動産株式会社	33
ライフデザイン・カバヤ株式会社	34
株式会社日建設計	35
銘建工業株式会社	36

【研究機関】

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 ..	37
-------------------------------	----



ウッド・チェンジ・アクション

- 建築物への木材利用の促進に向けて、政府施策にかかる意見交換や視察を実施
- **2021年7月会合**
 - ✓ 内閣官房、林野庁、国土交通省より、CLT（直交集成板）の利用拡大に向けた施策等を聞いた
- **2022年2月会合**
 - ✓ 内閣官房、林野庁、国土交通省より、建築物への木材利用促進を含む、審議会での議論内容を聞いた
- **2022年12月会合**
 - ✓ 国土交通省より、カーボンニュートラルの実現に向けた住宅・建築物分野における政府の取組のひとつとして、建築物に木材を利用する際の構造・防火に関する規定の合理化の取組状況等について聞いた
- **2023年3月視察**
 - ✓ 岡山県真庭市にて、木材産業の振興や建築物への木材利用促進にかかる取組について意見交換するとともに、CLT工場や木質バイオマス発電所を視察

今後のチャレンジ

- 都市・住宅分野のカーボンニュートラルに向けて活動を推進

課題・連携協力の可能性

- 関連する政府施策の周知等の協力

関連情報

週刊経団連タイムス「都市・住宅分野のカーボンニュートラルに向けて」（2023年1月19日号）
https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2023/0119_05.html



ウッド・チェンジ・アクション

商工会議所は、地域総合経済団体として、地域経済の活性化に向けた事業活動を展開。木材利用促進に向けた取組みも、自治体等とも連携しながら実施している。

<新庄商工会議所・山形県>

- 同所では、**構造材、造作材ともに県産木材である金山杉を活用し、商工会議所会館を建設**。地域商工業のシンボルとして、木のぬくもりが溢れる建物をコンセプトにしている。同会館は**2019年に「やまがたしあわせウッド賞」を受賞**。
- 2020年に「もがみバイオマス発電所」の見学をメインとした、循環型の暮らしに触れ「**やまがた森ノミクス(※)**」を学ぶ旅行商品を開発・企画。
- ※育苗～伐採～木質バイオマス発電という循環システムがひとつの地域内で完成
- 修学旅行などを通じて、**2023年までに延べ16校6団体 計1,362名**が参加。



<塩尻商工会議所・長野県>

- 商工会議所が事務局となり**2011年、塩尻市に「木育フェスティバル実行委員会」を設立**。木工業者や森林組合など、関連企業や団体 9 組織が参画。
- 2015年度からは「塩尻市ウッドスタート事業」として**、新生児への木製玩具のプレゼントを開始。2024年度までに6割強の新生児に木のおもちゃが渡された。
- その他、「**森のフェスティバル**」「**木育フェスティバル**」などを毎年開催。木育人材の育成に継続的に取り組んでいる。



今後のチャレンジ

引き続き、各地商工会議所を通じて、会員企業等に対し、ウッド・チェンジ協議会で得られる情報や政府の各種施策等の周知を図る。
また、各地商工会議所等の木材活用に資する取組みの好事例を収集し、横展開を図る。

課題・連携協力の可能性

事業者等が木材利用のメリットや意義を感じられるための効果的な広報に加え、自治体や地元経済団体等との連携強化。

関連情報

新庄商工会議所 会館：<https://www.pref.yamagata.jp/documents/19580/jirei-8.pdf>

新庄商工会議所「木質バイオマス発電所見学」：https://www.tohokukanko.jp/attractions/detail_1003100.html

塩尻商工会議所「木育」：<https://www.shiojiri.or.jp/mokuiku/>



ウッド・チェンジ・アクション

- 住宅生産者による花粉症対策の取組みのHP公表
～住宅生産者による国産スギ材等の利用状況～

令和5年5月30日「花粉症対策の全体像」が政府の花粉症に関する関係閣僚会議でとりまとめられました。

その中では、「発生源対策」、「飛散対策」、「発症・曝露対策」の3つの柱が掲げられ、「発生源対策」では、スギ人工林の伐採・植替え等の加速化と併せて、伐採したスギを住宅などの建物で積極的に活用する需要の拡大を図ることが示されています。

そこで当連合会では、令和5年12月、花粉症対策に貢献する国産スギ材の利用促進に向けた住宅事業者の取組みをご理解頂くため、傘下団体の主な会員企業の国産スギ材の利用状況や、その他国産木材の利用推進に向けた取組み等を「住宅生産者による国産スギ材等の利用状況」として取りまとめ、HPにて公表いたしました。

今後のチャレンジ

- 持続可能性に配慮した木材供給に向けて林野庁及び国土交通省が連携して行う国産木材の安定的な需給体制の確立に、住宅事業者の立場から協力。
- 国産材利用拡大に向けた会員企業における木造住宅建設の促進。
- 2050年カーボンニュートラル達成に向け、新築住宅のみならず、買取再販事業の拡大を含めた既存住宅の断熱改修の促進のための部分断熱や部分ZEH化を推進。

課題・連携協力の可能性

- 国産木材の安定的な需給体制の実現に呼応した国産材需要の掘り起こし。
- JAS材の安定供給に向けた製造・加工流通施設の整備、及び規格の合理化

関連情報

一般社団法人 住宅生産団体連合会 ホームページ : <http://www.judanren.or.jp/>



全国建設労働組合総連合（組合員60万人・うち大工12万人・53加盟組合）

ウッド・チェンジ・アクション

住宅・建築物における木材利用促進・大工技能者の育成等により“2050年カーボンニュートラル”の実現に貢献

1. 木造住宅の施工に携わる大工技能者の育成等

- ◇学校教育現場におけるキャリア教育の推進
- ◇認定職業訓練校の運営による若年技能者の育成
- ◇全国青年技能競技大会の開催
- ◇登録建築大工基幹技能者講習の実施

2. 各地域での「木材利用促進協定」の締結推進

3. 地域で開催する「住宅デー」における木工教室等

2023年度 1703会場 18.7万人来場

4. 災害時の木造応急仮設住宅の供給体制整備

地域材を使用した木造
応急仮設住宅（輪島市）



住宅デー会場での
カナナ体験（佐賀県）



今後のチャレンジ

- 大工技能者育成に関する事業の強化
30万人を割り込む大工 若年入職者の確保
- ウッドショック・カーボンニュートラル等を踏まえた
国産材への転換支援、スギ花粉対策の推進
- 地域工務店の非住宅木造建築の受注支援
- 各地域での木材利用促進協定の締結推進
2023年度 東京都・千葉県と協定を締結

課題・連携協力の可能性

- ウッドショック・国際情勢を踏まえた地域工務
店の木材調達のあり方検討、川上・川中・
川下による連携の促進
- 木造建築の脱炭素貢献の見える化

関連情報

全国建設労働組合総連合（全建総連）Webサイト <https://www.zenkensoren.org/>



ウッド・チェンジ・アクション

1. 持続可能な木材の利用

- ・木板張り仕様の準耐火構造外壁の開発
- ・□準耐火建築物1号の梁受金物の開発

2. 環境教育・啓発活動

- ・工務店の実務に役立つ木材の情報提供

3. 地域との連携

- ・各地域での「木材利用促進協定」の締結推進

4. 施工管理方法の共有『地域工務店が取り組む

中大規模木造建築物の施工管理マニュアル』作成

5. 県産材を活用した木造応急仮設住宅の供給

6. 地域工務店の国産材を使用した住宅作りの推進

7. 木材利用促進や人材育成等による

2050カーボンニュートラル実現

今後のチャレンジ

1. 会員工務店への定期的な研修、セミナーの開催、専門家とのネットワークを通じて知識と技術の普及を図る。
2. サプライチェーンの構築により、国産材の需要と供給の安定化を図る。
3. 地域固有のニーズや状況を把握し、木造住宅、非住宅・低中層木造建築の受注支援を行う。

課題・連携協力の可能性

各地域の行政や川上・川中・川下間の情報を共有することにより、相互の価値感や背景への理解を深め、より円滑な関係構築を目指す。

関連情報

一般社団法人JBN・全国工務店協会 ホームページ : <https://www.jbn-support.jp/>



ウッド・チェンジ・アクション

大規模・中高層建築物の木造・木質化を推進

1. 社会的認知度の向上
 - ・木造・木質建築物の事例・関連情報の集約
 - ・木材利用によるLCCO2の可視化
2. 木材利用のメリットの向上
 - ・木材利用のメリット・デメリットの整理・発信
3. RC造、S造との価格競争力の向上
 - ・標準化・規格化による木造・木質化の生産性の向上とコスト削減
4. 防耐火規制の合理化
 - ・木質建築関連法規制及びその運用の情報収集
 - ・関連法令の合理化等に向けた意見の集約、提案
5. 木造関係諸団体との協業

今後のチャレンジ

- 建設業における脱炭素社会実現への貢献
 - ・木材再利用に向けた課題整理と提言
 - ・脱炭素・生物多様性の両立
- 建設業における非住宅分野への木材利用拡大
 - ・鉄やコンクリートと併用・代替品としての木材利用
 - ・価格低減に向けた部材・接合部・の標準化
- 建設業における労働力不足と働き方改革への貢献
 - ・軽量・加工容易性による生産性の向上
 - ・工場生産・ユニット化工法による生産性の向上

課題・連携協力の可能性

- ・川上(林業)・川中(木材メーカー)と川下(事業者)との木材利用・調達における課題共有と連携協力
- ・規制緩和・合理化に向けた関連団体・行政庁との連携協力

関連情報

一般社団法人 日本建設業連合会 ホームページ : <https://www.nikkenren.com/>



公益社団法人日本建築士会連合会

ウッド・チェンジ・アクション

- ◆2015年8月、新国立競技場の屋根構造の木造化をオリパラ担当大臣他関係者に提言。
- ◆第60回建築士会全国大会京都大会（2017年12月）を「山とまちと木造建築」をテーマに開催。
- ◆2020年、連合会に木のまちづくり部会を設置。
- ◆埼玉建築士会、愛知建築士会等において、川上から川下が連携しつつ、中大規模木造建築技術者を養成
- ◆2021年度、連合会と建築フォーラムとの共催により、東北ブロックを対象に「木の建築賞」を選定。
- ◆2021年11月、国土交通省と連合会が、「木造建築物の設計・施工に係る人材育成等に関する建築物木材利用促進協定」を締結。
- ◆2022年から現在までに、12の建築士会と都県・市との間で建築物木材利用促進協定を締結。
- ◆2023年度、プレカット技術者協会と連携し、プレカット図の標準化を目的としたマニュアルを作成。
- ◆2024年度
 - ①都市型木造として、3階建て中規模木造建築物の標準設計セミナー実施を目的としたテキストを作成予定。
 - ②2023年度の継続として、プレカット図の標準化を目的としたマニュアルの改定。

今後のチャレンジ

- ◆建築士会の協力の下でセミナー等を開催し、木造建築物の設計・施工に係る技術者を育成。
- ◆埼玉建築士会、愛知建築士会の取組を全国の建築士会に横展開を図り、中大規模木造建築技術者の養成を推進。
- ◆「木の建築賞」を木の建築フォーラムと共催し、全国7ブロック単位で巡回実施。2024年度は近畿ブロックを対象に選定。
- ◆都道府県と建築士会による建築物木材利用促進協定の締結を推進。

【木材利用促進月間等での取組】

- ◆建築士会全国大会鹿児島大会
 - ・九州ブロックにおける木の建築賞作品の発表とシンポジウム
 - ・木のまちづくり部会の森林・林業に関するセッション

課題・連携協力の可能性

- ◆地域の木材流通ネットワーク構築のため、都道府県の建築士会と関係団体との一層の連携が重要。

関連情報

第66回建築士会全国大会鹿児島大会 <https://sakurajima.or.jp/convention2024/>
木の建築賞 https://www.forum.or.jp/menu2_10.html



ウッド・チェンジ・アクション

- 令和5年に「2050年カーボニュートラル」の実現に向けてオフィスビル業界をリードする立場から、2030年度までの新たな数値目標を盛り込んだ「オフィスビル分野におけるカーボニュートラル行動計画」を策定し、令和6年フォローアップ調査を実施。
- 行動計画における重点事項の一つとして「オフィスビルにおける木材利用の推進」を掲げ、建築物における国産材等の木材利用については、脱炭素化への貢献が期待されていることから、中高層ビルの木造化・木質化をはじめ、オフィスビルにおける木材利用を推進する活動に取り組んでゆく。BUILDING TOKYO 2024年3月号にて木造中高層オフィス特集記事を掲載した。

今後のチャレンジ

- 会員企業に対する普及啓発等
国のキャンペーンと連携したシンポジウム・講演会等の開催、先駆的な木材活用を導入した優良ビル事例の紹介、見学会の実施など、会員企業に対する普及啓発等を推進。

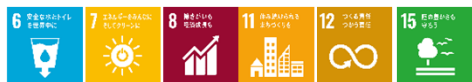
課題・連携協力の可能性

- 関連施策・活動の情報周知について、林野庁・国交省等の行政機関及び関係団体との連携・協力

関連情報

一般社団法人 日本ビルディング協会連合会

会 員 数 : 1,377 (2024年4月1日現在)
ホームページ : <https://www.jboma.or.jp/>



ウッド・チェンジ・アクション

木材利用を優先する社会(ウッドファースト社会)の実現をめざし、地球温暖化防止、地域社会の活性化に大きく貢献する木材の利用を拡大

- 1 温暖化防止・地域活性化に貢献する持続可能な木材利用の推進
- 2 住空間、街づくりへの総合的な木材利用拡大への取組
- 3 木材産業のグリーン成長に向けた産業構造の確立
- 4 安全・安心の木材利用・供給の推進



木材のチカラが、
この国の街づくりを変える。

今後のチャレンジ

- ・都市（まち）の木造化等木材利用の推進
- ・持続性の確保された木材の利用及び山元への利益還元と再造林できる体制の構築
- ・平成7年の改正クリーンウッド法施行に向けて合法伐採木材の流通・利用の推進
- ・JAS製材品等品質・性能の確かな木材の供給と技術開発・普及

課題・連携協力の可能性

- ・幅広い関係者による木材利用についての国民運動の展開
- ・合法性が確認された木材、持続性の確保された木材の利用促進

関連情報

森(もり)を活かす都市(まち)の木造化推進協議会 <https://machi-mokuzouka.jp/>

木材利用推進中央協議会 <https://www.jcatu.jp/home/> もりんく <https://molink.jp/>

JAS構造材の利用拡大 <https://www.jas-kouzouzai.jp/> 外構部等の木質化推進 <https://love.kinohei.jp/>



一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会

ウッド・チェンジ・アクション

- 1.住宅用プレカット加工機を用いた町役場等の加工
 - ・高精度かつ低コスト化の実現
 - ・プレカットと相性のよい架構を設計者と協働で計画
 - ・地域材を用いた大規模建築を連携で実現



- 2.これまで鉄骨造で建てられてきた建築を木造にチェンジ
 - ・大規模及び中小な商業建築等を木造化
 - ・住宅と同じ架構形式で、工期の合理化を可能に
 - ・建築物の重量の軽減で、環境負荷の高いRC基礎の簡略
 - ・低層非住宅 + 4階までの非住宅の木造化



今後のチャレンジ

- 一般流通材を用いたトラス標準図の整備
- 一般流通材を用いたトラスマニュアルの整備
- 軸組工法に用いる高倍率のCLT耐力壁の開発
- 高倍率の耐力壁に用いる柱頭柱脚金物の開発
- 実例による国産材を活用した普及セミナーの企画
- トラスマニュアル（キングポスト・平行弦・張弦）
- 講習会の開催
- 見学会の実施（実例・プレカット工場）
- 恒久的な国産材利用を見据えた仕組みづくり
- 【木材利用促進月間等での取組】**
- 概算積算システムセミナーの開催
- 教育普及委員会、構造委員会の開催

課題・連携協力の可能性

若干増えつつもあるが、全国各地で認知されていない、大きな市場が見込まれる、一般流通材での中大規模木造建築の普及に取り組むことが必要。国産材の生産システムを確立するために日常的に国産材利用をされる仕組みづくりを一緒に考えていく必要がある。

関連情報



技術情報や講習会の予定はこちらから





【会員名】（一社）日本林業経営者協会

ウッド・チェンジ・アクション

～会員の取組事例～

豊田博物館において、「地域材利用セミナー&博物館見学会」を開催

今年4月、愛知県豊田市に新しい博物館がオープンしました。建物には構造材や内装材として豊田市産を中心とした地域材が使われており、その意義や効果を伝えるセミナーを豊田市産業部森林課と西垣林業株式会社が共同で開催。

- 当日は、行政・大学・建築関係・一般企業などから約250人が来場。
- 設計者や研究者より、設計の工夫や地域波及効果などについて発表。木材調達関係者も交えて、パネルディスカッションも行った。
- 質疑応答では多くの質問があり、参加者の関心の高さを改めて感じることができた。



今後のチャレンジ

- 引き続き、異業種とコラボすることにより、木材の新たな活用方法を検討し、木材利用分野の拡大及び需要促進につなげていく。
- 外構用の高耐久化技術など、新しい木材技術を積極的に取り入れ、地域材の付加価値をあげる。

【木材利用促進月間等での取組】

SDGs AICHI EXPO2024 に、西垣林業(株)はヤハギ緑化(株)、岐阜国際園芸アカデミー、豊田高等職業訓練校と共同で出展

課題・連携協力の可能性

- 地域材活用の意義や効果を発信
- 異業種・大学との連携で木材を用いた社会問題(カーボンニュートラル・健康経営等)の解決へつなげる

関連情報

西垣林業株式会社 <https://www.nishigaki-lumber.co.jp/>
豊田市博物館 <https://hakubutsukan.city.toyota.aichi.jp/>



ウッド・チェンジ・アクション

- ◆林政問題に関する研究会(委員市112市 令和6年8月末時点)
 - ・林野行政を取り巻く諸課題等の情報収集・意見交換を実施。近年では、森林環境譲与税の活用事例の紹介と意見交換を実施。
 - ・「森林・林業に関する提言」のとりまとめ。地域材の安定的・効率的な供給体制の構築、国産材の利用拡大の推進、CLTの普及、公共建築物等の木造化・木質化の推進等について提言。
 - ・委員市(岡山県真庭市)の取組事例
 - CLTを用いて建築された「奈義町立なぎっ子こども園」を題材としてCLTセミナーを開催(CLTの普及促進活動)
 - 大阪・関西万博に建築される大屋根リングの一部に真庭市内で製造されたCLTを使用
 - 産官学が連携し、「耐火」・「接合」等の主要研究課題に係る「林業・木材・木造建築に関する研究施設」の整備に向けた検討、人材育成プログラム策定の推進を実施

今後のチャレンジ

- ◆森林環境譲与税の一層の有効活用を推進するためには、山間部と都市部の連携が不可欠であることから、先進的な取組等の情報共有を通して、双方にとってメリットが生まれる事業を検討。
- ◆国産材の利用拡大、CLTの普及、公共建築物等の木造化・木質化の推進について、提言のとりまとめ及び関係府省庁への要望活動を引き続き実施。

課題・連携協力の可能性

- ◆森林環境譲与税の更なる活用と国民理解の醸成、木材加工流通施設等の整備、公共建築物等の木造化・木質化に係る財政支援、施工者の技術向上に係る支援等が課題

関連情報

林政問題に関する研究会「森林・林業に関する提言」(令和5年11月)

https://www.mayors.or.jp/p_opinion/o_teigen/2023/11/231121rinsei-teigen.php



ウッド・チェンジ・アクション

◆林業の町の新たなシンボル

岩手県葛巻町では、「くずまき大橋」に町産材であるカラマツ集成材をふんだんに使用した木製の屋根を設置した。

「林業の町くずまき」の新たなシンボルとなり、地場産材の利用促進や新たな木材利用の提案など、さらなる林業振興を図るPR効果を生み出すことが期待される。

◆もてぎの森からの贈り物事業

栃木県茂木町では、木材利用や普及啓発活動を通じて住民の森林整備への理解の醸成に取り組んでいる。

もてぎの森からの贈り物事業として、9か月児検診では町産間伐材を利用した積み木（もっくいっく）を、2歳児健診では椅子（もっくいっす）、出生届時にはブックスタンド、婚姻届時にはカッティングボードをプレゼントした。



くずまき大橋



もてぎの森贈り物事業
（もっくいっく）

今後のチャレンジ

◆町村での木材利用を推進するため、活用事例の共有や周知徹底を進める。

◆公共施設（役場庁舎等）の木造化の推進

◆森林環境贈与税のより一層の活用を図り、都市部との連携等を促進する。

◆特色ある町村の取組等の共有により、木材利用について関心を高める。

課題・連携協力の可能性

◆町村でのさらなる木材の利活用

◆木材利用に関する情報の周知

関連情報

岩手県葛巻町 <https://www.town.kuzumaki.lg.jp>

栃木県茂木町 <https://www.town.motegi.tochigi.jp>



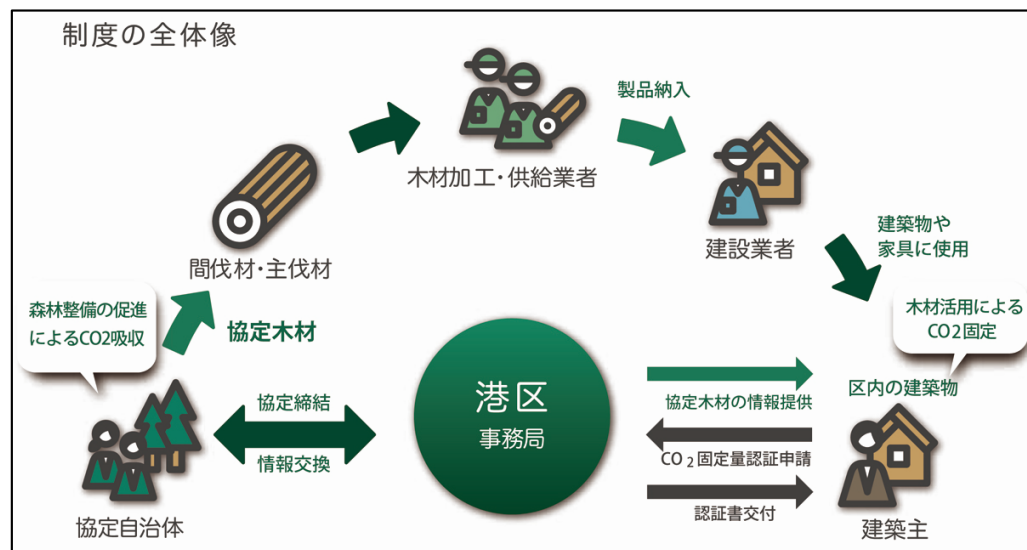
みなと森と水ネットワーク会議

ウッド・チェンジ・アクション

◆2009年10月、二酸化炭素の削減に取り組む都市部の港区と、林業の活性化を図る森林資源が豊富な全国の自治体とが、それぞれの課題解決を図る連携組織「みなと森と水ネットワーク会議」を発足

◆2011年10月 港区内で床面積5,000㎡以上の建築を行う建築主に対し、床面積1㎡当たり0.001㎡以上の協定木材（※1）又は国産木材の使用の協力を要請する「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」を開始

※港区と「間伐材を始めとした国産木材の活用促進に関する協定」を締結した自治体から産出された木材



今後のチャレンジ

◆「みなと森と水ネットワーク会議」の参加自治体の首長と更なる木材活用促進に向けて意見を交わす「みなと森と水サミット」を引き続き開催（昨年のサミットでは「森林資源の価値向上に向けた持続可能な環境整備」を意見交換）

【木材利用月間等での取組】

- ・みなと森と水サミットの開催
- ・サミットのプログラムとして「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度表彰」受賞の表彰式を開催

課題・連携協力の可能性

【課題】協定木材の更なる利用促進

【連携協力】協定自治体数 約80自治体

みなとモデル登録事業者数 約400社（※2）

※2 協定自治体産の木材を製材・加工・取引可能な事業者数

関連情報

ホームページ：<http://www.uni4m.or.jp/>

Youtubeチャンネル：https://www.youtube.com/channel/UCK6Mb9ib_VEaU3kOKwwRgUQ



ウッド・チェンジ・アクション

■ 木づかい関連セミナーの開催

- ・2024年7月29日 15:00～18:00
- ・タイトル：「内装木質化効果効能の基礎知識2024」
- ・講師：東京大学・恒次祐子教授
- ・会場：三菱地所設計スタジオ
- ・参加者：協会正会員43名
- ・主旨：木質化による心理面、身体面、衛生面などから経済面、企業価値、社会貢献に至る効果・効能について最新の研究事例の解説を行い、エビデンスに基づく木質化推進の啓蒙を行う。



- 2024年2月東京ビッグサイトにて開催の「国際ホテルレストランショー」にて正会員による木づかい活動の成果を報告。



今後のチャレンジ

木づかい事例見学会の開催

- ・9月12日：
AQグループ新本社ビル
- ・10月30日：
旧渋谷家住宅+NOVARE
- ・11～12月：
クルックフィールズ見学会



【木材利用促進月間等での取組】

- ・ウッドチェンジ協議会の活動を定期的に会員に周知。
- ・毎年2月開催のホテル展にて協会会員の「木づかい活動」を発表展示する。

課題・連携協力の可能性

- ・会員企業は各々SDG'sの取り組みを行っており、国産木材の活用も推進している。当協会は「木づかい」活動を通して会員と連携し、結びつける事で、新たな価値を創出するプラットフォームとしての機能を持つ。

関連情報



(一社) 日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC)

ウッド・チェンジ・アクション

JAPICの目標

“林業の成長産業化” “地域創生”

○森林再生事業化委員会

(委員長：酒井 秀夫 東京大学名誉教授)

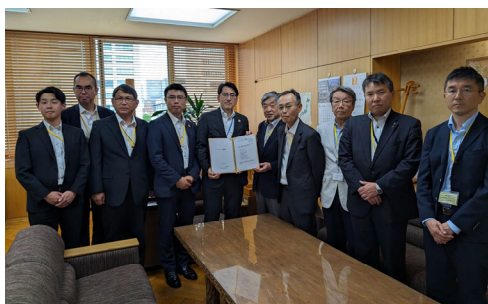
・政策提言（6月10日青山林野庁長官へ手交）

- ①循環型・次世代林業の推進
- ②林業DX（デジタルツイン）への変革
- ③林業基盤整備と防災対策
- ④木材利用の促進に向けた取組

○林業復活・地域創生を推進する国民会議

(会長：宮下 正裕 (株)竹中工務店特別顧問)

・2024年 第9回国民会議開催予定（10月31日）



青山林野庁長官への提言手交



国民会議・林業WG開催の様子

今後のチャレンジ

○新たな視点も加えた取組の継続

- ①持続可能な林業に向けた資金循環
- ②地域創生
- ③人材活用

WG視察の様子



熊本県五木地域森林整備
推進協定に係るWGへの参画



長野県木曽町役場 本庁舎見学

課題・連携協力の可能性

産官学交流のプラットフォームとして、引き続き情報共有や政策提言を精力的に実施して参ります。

関連情報

JAPIC森林再生事業化委員会：http://japic.org/project_outline/forest/index.html

林業復活・地域創生を推進する国民会議：http://www.japic.org/project_outline/national_assembly/index.html



公益財団法人日本住宅・木材技術センター

ウッド・チェンジ・アクション

当センターは、木材と建築に係る産・官・学界の接点となり、技術の開発普及、品質性能の向上等を推進することを目的として設立された財団法人

政策ニーズ、現場動向等に即した各種公益事業を通じて、木材利用の新たな道を開くウッドチェンジに貢献

- ・C L T等新技術を用いた建築の実証、内外装木質化の効果の見える化の実証等の支援、成果データ等の公開
- ・木造建築用接合金物の開発・標準化、木質材料・住宅供給システム・構造計算プログラム等の認証
- ・建築基準合理化等に対応した新開発製品・構法に対する構造・防耐火試験、性能評価
- ・木造建築物の設計等に関する技術資料の発行、講習、各種情報共有化活動の実施

今後のチャレンジ

- ・中大規模木造建築の普及率向上のため
 - －高耐力金物の開発・標準化、BIM対応の検討
 - －技術解説書や普及資料の発行、講習会の開催
 - －「中大規模木造建築ポータルサイト」等の運営
 - －高強度構造試験、長時間防耐火試験の実施
 - －認証制度を通じた新技術の定着促進
- ・都市木造化のフロンティアとなっている4階建分野をターゲットとした木材流通・木造建築業界への適合性に着目した木造建築供給モデルの検討
- ・国産木材活用住宅ラベルの普及

課題・連携協力の可能性

関係行政機関、研究機関、業界団体等が進めるウッドチェンジ関連諸活動、プロジェクト等への積極的参画・連携に努めてまいりたい。

関連情報

(公財) 日本住宅・木材技術センター
中大規模木造建築ポータルサイト
中大規模木造建築データベース
国産木材活用住宅ラベル協議会

<https://www.howtec.or.jp/>
<https://mokuzouportal.jp/>
<https://www.daimoku.jp/>
<https://kokusanmokuzai.jp/>



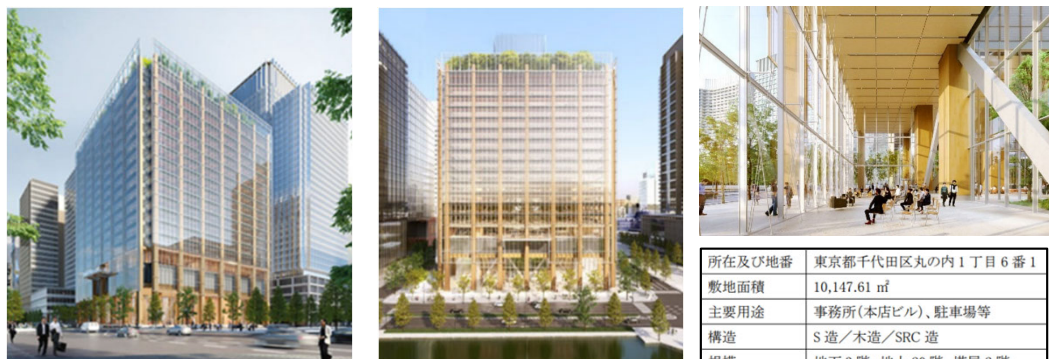
ウッド・チェンジ・アクション

＜新・本店ビル計画＞

～国産木材を使い木の使用量が世界最大規模となる高さ 100m の「木の本店ビル」へ～

- ◆ 柱や床などの構造材を含め、これまで他に例のないレベルで国産木材を利用し、世界最大規模の木造ハイブリッド構造による超高層オフィスビルをめざします。
- ◆ 木材には、戦後植林され利用期を迎えた国産木材を用いることで、造林、伐採、利用、再造林のサイクルを需要者として支え、山林の保全や水源の涵養、地方経済の活性化など、循環型社会の実現に貢献します。

2024年12月着工→2028年度竣工予定



所在及び地番	東京都千代田区丸の内1丁目6番1
敷地面積	10,147.61 m ²
主要用途	事務所(本店ビル)、駐車場等
構造	S造/木造/SRC造
規模	地下3階、地上20階、塔屋2階
建物高さ	約100m
延床面積	約130,000 m ²

※国際的なグリーンビルディングの認証プログラムである LEED® の v4 における「LEED® for Building Design and Construction: New Construction」のカテゴリーで最高レベル「Platinum」の予備認証を取得

今後のチャレンジ

- ◆ 一般的なビルに比べて建築時の CO2 排出量を 3割程度削減することに加え、高効率の設備や地域冷暖房の採用、使用電力に 100%再生可能エネルギーを導入するなどの施策により、省エネルギーの推進、脱炭素社会の実現に貢献します。
- ◆ 東京海上グループは、これからもステークホルダーの皆様とともに、気候変動対策の推進、災害レジリエンスの向上、健やかで心豊かな生活の支援、D&I の推進・浸透に繋がる取り組みを通じて、SDGs の達成に貢献します。

課題・連携協力の可能性

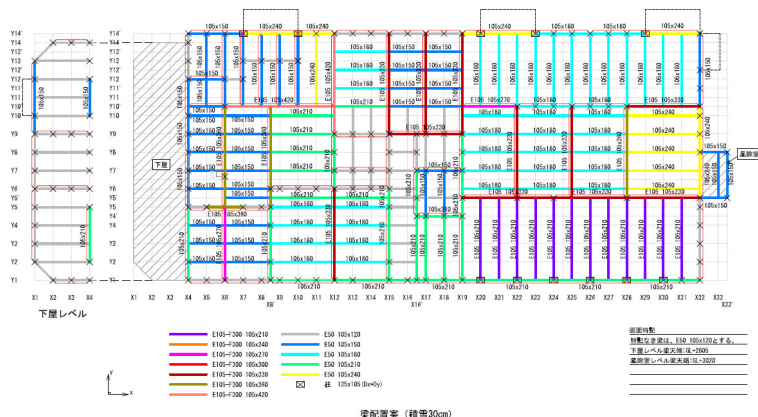
木材の魅力発信や、木材利用促進に引き続き取り組むことで、林業再生や地方における雇用の創出、ひいては地方創生につなげてまいります。

関連情報

東京海上日動火災保険株式会社ホームページ : <https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

ウッド・チェンジ・アクション

- 新しくCシリーズを開発し、従来は50%程度であった**国産木材使用率を80%以上**使用できるモデルとなった。
例) マクドナルド安芸熊野店
構造材=国産材：31.47m³+外国産材4.42m³
⇒国産木材使用率88%
- 住宅系メーカーと設計施工の取り組みを開始し木造店舗建設体制の強化を図っている。



- JAS認定木材を指定して利用。
- **2024年は38棟の木造店舗が竣工予定。**

今後のチャレンジ

- 2026年以降のドライブスルー店舗の70%以上を木造で建設
- 仕口仕様の再検討などにより作業の簡素化（地域工務店の若い作業員でも可能に）
- 寒冷地でも対応できる構造の検討
- よりコンパクトな木造店舗モデルの開発と実践

課題・連携協力の可能性

- ・自治体の助成金活用を図りたいものの、工期の観点からタイミングが合わないことが多い。

関連情報

- ・2024年6月及び8月に木造店舗建築中の見学会を実施

- ・情報誌「林野」6月号寄稿 (<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhousitu/jouhoushi/0606.html>)

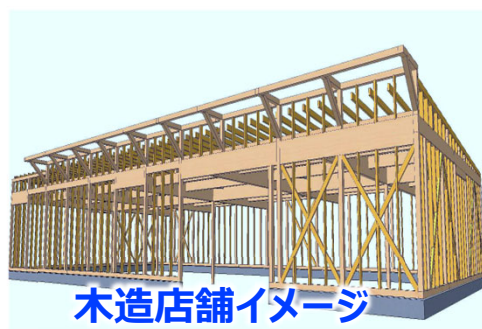


ウッド・チェンジ・アクション

『セブン-イレブン店舗建設における

建築物木材利用促進協定』を締結

1. 協定締結日：2024年8月20日（水）
2. 有効期間：協定締結日～2029年2月28日
3. 対象区域：全国
4. 目的：弊社が掲げる次の50年の目指す姿の実現のためのテーマの内の2つ「地域」「環境」の取り組みとして、農水省との協定を締結し、木材という持続可能な資源を積極的に活用していくことにより、「脱炭素」「循環型経済」「自然共生」「地域活性化」等の社会課題の解決により一層貢献していく。



今後のチャレンジ

・今後、新たに出店する店舗などにおいて、持続可能な資源である木材（地域材）を積極的に活用した木造化・木質化を推進し、5年間で約1,375 m³（25 店舗/年×11 m³/店×5 年間）の地域材の利用を目指す。

【木材利用促進月間等での取組】

福岡市産木材を主とした国産木材を活用した「セブン-イレブン福岡ももち店」を8月に開店。



課題・連携協力の可能性

弊社の標準工法（軽量鉄骨工法）と比較して経済合理性に課題。新たな工法の研究、川上、川中、行政と一体となった取組に期待。

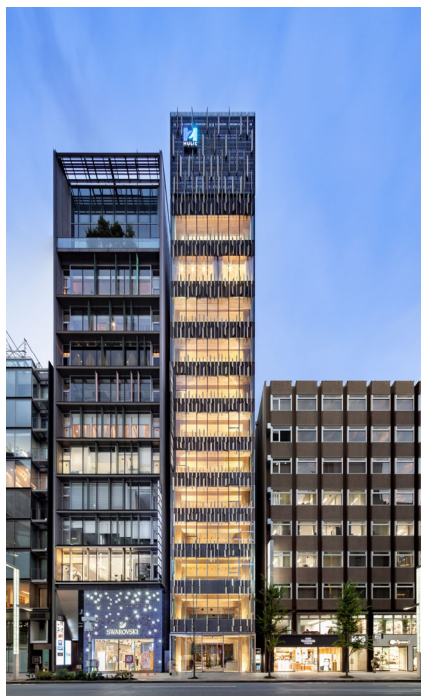
関連情報

株式会社セブン-イレブン・ジャパンホームページ：<https://www.sej.co.jp/company/>

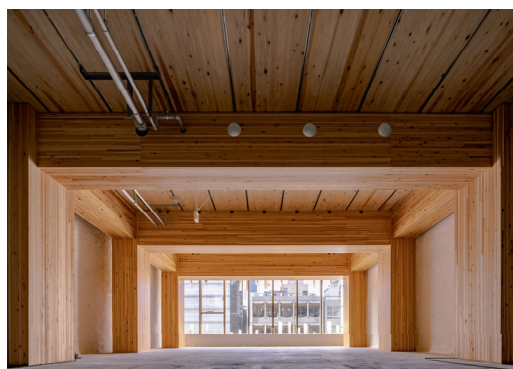


ウッド・チェンジ・アクション

HULIC & New GINZA 8



- 延床面積 2,459㎡
- 階数 地上12階/地下1階
- デザイン監修 隈研吾建築都市設計事務所
- 設計・施工 竹中工務店
- 竣工 2021年10月15日



- 国産材使用量 約300m³
- 炭素貯蔵量 約217t-Co2
- 使用した木材のもととなる立木と同量の伐採・植林・下刈り(5年間)を実施
- 耐火集成材の柱・梁、CLTの天井を、テナントは内装としてそのまま使用

今後のチャレンジ

- ・中高層非住宅建築や低層高齢者施設の木造化、木質化
 - ・・・木とRC・Sを適材適所に使用した木造化を推進することで経済的にも合理性の高い建築を設計
- ・国産材の積極的使用

課題・連携協力の可能性

- ・他企業との連携による、ローコストと躯体寸法の最小化を実現する耐火木材の開発

関連情報

ヒューリック株式会社ホームページ

<https://www.hulic.co.jp/>



ウッド・チェンジ・アクション

木造ハイブリッド工法

- 『M-HR工法』『HRT（ハート）工法』のご提案 -

1階は「木質二方向ラーメンサミットHR工法」でRC造並みの柱割による大空間・大開口を実現。2・3階は「2×4工法」や「テックワンを使用した在来軸組工法」を採用し、建物全体のコストバランスを確保しつつ用途に応じた自由なプランニングを可能にした木造ハイブリッド工法を提案し、中規模木造の民間案件の需要に対応。



特長

- | | | | |
|------------|------------------------------------|------------|------------------------------------|
| FEATURE 01 | 1階はRC造並みの柱割で
大空間・大開口を実現 | FEATURE 04 | 1階は筋交いで制限されることがなく
将来的な変化に対応しやすい |
| FEATURE 02 | 2・3階は木造のスタンダードな工法で
コストバランスを実現 | FEATURE 05 | 1階も木造であらわしが可能
木造のぬくもり等が活かせる |
| FEATURE 03 | サミットHR工法はラーメン構造が
実現でき耐震性にも優れている | FEATURE 06 | 企業価値の向上にもつながる
地球温暖化防止に貢献できる |

今後のチャレンジ

- S/RC造との混構造による適材適所で木を活かした構造・工法・部材提案の促進
- 中・大規模建築1100棟（30年）以上の経験を活かした更なる技術・品質の向上と提案力の強化
- 構造部材をあらわしで利用できる燃え代設計の準耐火構造の促進
- クライアントへの普及活動の継続

課題・連携協力の可能性

- 川上から川下（森林組合・製造工場・加工場 及び設計事務所・元請・クライアント）との連携強化とシステムの構築
- GIR研究会を通じたGIR接合の整備及び品質・普及活動の強化

関連情報

SMB建材(株) 木構造事業本部
<https://summit-hr.com/>





株式会社 大林組

ウッド・チェンジ・アクション

【木造・木質化建築に取り組む意義】

森林資源の循環利用・森林再生に繋げ、
カーボンニュートラルの実現やSDGs達成に貢献

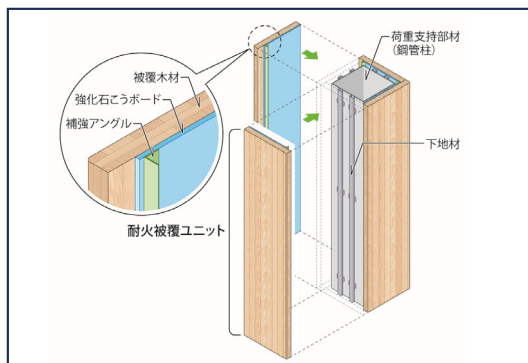


都市木造実現への取り組み

- ①実績：商業ビル
(nonowa国立SOUTH)
- ②耐火認定の開発
(スナダヤと協働)
- ③CLT屋外暴露試験
(三菱地所と共同研究開発)



①nonowa国立SOUTH
(柱が木造、梁がハイブリッド集成材)



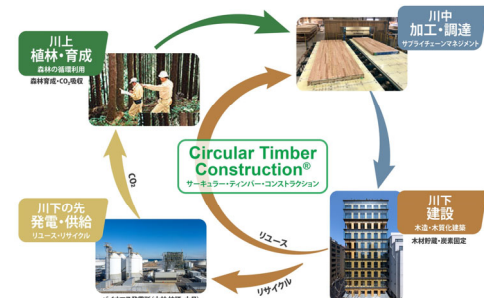
②鉄骨の耐火被覆にCLTを採用
(空間の木質化・部材リユースを促進)



③3m超のモックアップによる暴露試験
(外部における木材活用の可能性拡大)

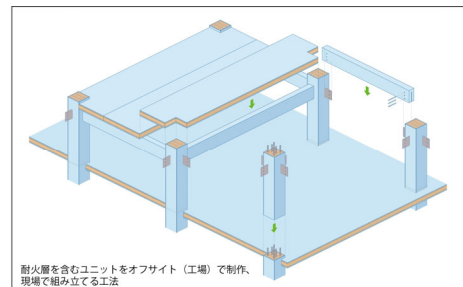
今後のチャレンジ

Circular Timber Construction ／循環モデル



木を活かす自然共生の循環型モデル
(木材の川上から川中、川下の先までの循環を活性化)

オフサイト施工 ／施工性向上



O・Mega Woodオフサイト工法組立図
(耐火層も含めたオフサイト構工法)

課題・連携協力の可能性

- ①グループ会社スナダヤとの連携強化 (CLT拡販)
- ②建設業の課題である生産性向上と
顧客への提供価値の関係構築
- ③脱炭素への貢献
(社内に専門部署カーボンニュートラル・
ウッドソリューション部を設立)

関連情報

『OBAYASHI WOOD VISION』

<https://www.youtube.com/watch?v=luDMjMwqCDw>

大林組木造建築スペシャルサイト

『Port plus』

<https://www.oyproject.com/>





ウッド・チェンジ・アクション

日本最大級の木造耐火商業施設「豊洲 千客万来」



- ◆木造部面積：5,300㎡、木材使用量：1,085㎡
- ◆「東京の木 多摩産材」活用
- ◆木質耐火部材「COOL WOOD」採用

建築主：万葉倶楽部

企画・監修：万葉倶楽部一級建築士事務所

環境デザイン：アンデザイン一級建築士事務所

設計・監理：五洋建設本社一級建築士事務所

木造設計・構造設計：シェルター建築設計事務所

施工：五洋建設東京建築支店／木造部：石井工務店

今後のチャレンジ

- ◆木質耐火部材を活用した木造ビルの普及・拡大
- ◆プラチナ森林産業イニシアティブ（三菱総合研究所他）と連携した「木造都市（まちの木造化・木質化）の展開」

<https://platinum-network.jp/forest-industry-initiative/>

【木材利用促進月間等での取組】

- ・9/18 プラチナ森林産業イニシアティブセミナー
- ・9/27 リブウッド大阪城(都島プロジェクト) 完成見学会
- ・10/22 U-35展ギャラリーイベント「都市に森をつくる」

課題・連携協力の可能性

- ・（一社）日本木造耐火建築協会を通じた木造耐火技術の普及支援（オンラインマニュアル講習会など）
- ・他企業との連携による木造技術開発



関連情報

【HP】<https://shelter.inc/>

【Facebook】[@shelter.fb](https://www.facebook.com/shelter.fb)

【Instagram】[@shelter.ig](https://www.instagram.com/shelter.ig)



ウッド・チェンジ・アクション

◆中大規模建築の木材利用促進に向けた技術開発

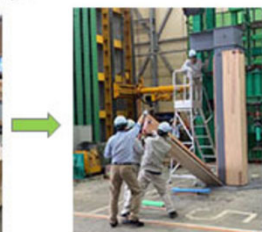
＜木被覆角形鋼管柱で 1 時間耐火大臣認定を取得＞
～ 国内初、木材のみで被覆 ～

2024年4月3日ニュースリリース

＜被覆留付仕様の施工イメージ＞



木被覆材の搬出荷姿



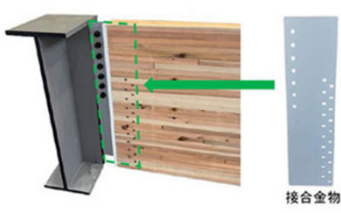
建て起こし(左)ないしはクレーン吊り込み(右)による現場組み立てイメージ



被覆施工完了

＜混構造建築の梁接合金物を発売＞
～ 形状規格化で設計業務を省力化 ～

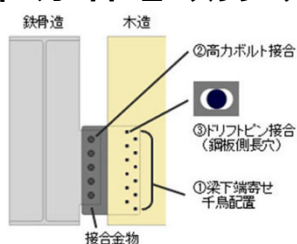
2024年2月2日ニュースリリース



混構造の接合部と開発した接合金物



木造小梁とRC造大梁の混構造建築イメージ



接合部分の詳細

今後のチャレンジ

＜木造混構造6階建ての社宅着工＞
～ 独自技術でCO2、コスト削減へ ～

2024年5月15日ニュースリリース

◆物件概要

所在地：茨城県つくば市

用途：共同住宅、店舗等

構造：RC造 + 木造

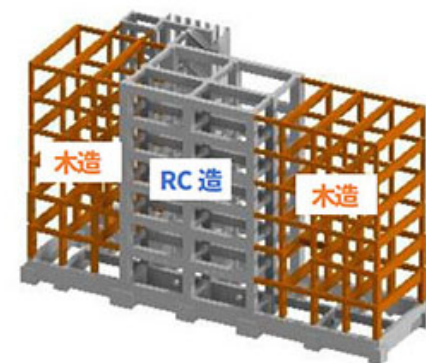
階数：6 階建て

着工：2024年5月

竣工：2025年5月末予定

木材利用量：322m³

炭素固定量：267.239トンCO2e bio (CO2ベース)



課題・連携協力の可能性

建物のCO2を見える化するソフトウェア

『One Click LCA』の販売・算定受託事業と併せ、建材の環境認証ラベル『EPD』の取得推進事業も進めています



関連情報

Mission TREEING 2030
ニュースリリース2024
One Click LCA

<https://sfc.jp/information/vision/>
<https://sfc.jp/information/news/news2024.html>
<https://sfc.jp/treecycle/value/oneclicklca.html>



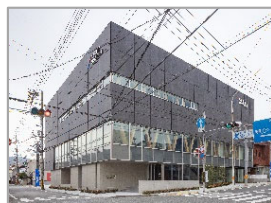
ウッド・チェンジ・アクション

竹中2024アクション①

続々と木造・木質建築プロジェクトが実現しています



ウッドライズ仙台



広島銀行十日市支店



成蹊大学新11号館



エア・ウォーターの森

竹中2024アクション②

[キノマチウェブ](#)でまちと森をつなげる情報を発信しています



【記事カテゴリー】

[“木”のサーキュラーエコノミー](#)

[新時代の森林経営](#)

[最新木情報・川下の動き](#)

今後のチャレンジ

中大規模建築での木材利用で森林グランドサイクル®の維持・拡大を目指します

今年の木材利用推進月間！



2024年10月29日（火）
12:00-17:00（予定）

課題・連携協力の可能性

成蹊大学11号館では、建築主が推進する「持続可能な開発のための教育:ESD」の一環として、林業家や企業、自治体と連携して伐採体験などの取り組みを行いました



[キノマチウェブ記事：みんなでつくる新しい学びの場【動画あり】](#)

関連情報

竹中工務店の木造・木質建築 : <https://www.takenaka.co.jp/enviro/environment/>
キノマチウェブ : <https://kinomachi.jp/>
キノマチラボ（Instagram） : <https://www.instagram.com/kinomachilab/>



ウッド・チェンジ・アクション 2024年

①施工実績

用途：児童保育施設
構造：木造
竣工：2024



用途：宿泊施設
構造：木造
竣工：2023

②木材利用普及活動



← 非住宅木造建築フェア2024
2024年5月30、31日
東京ビッグサイトにて開催

モクタス n°6
2024年5月に発行



③モクタスキューブ(可搬型木造建物)

能登半島地震の復興支援者宿舎として、2024年6月30日、石川県輪島市三井町にある能登空港多目的広場に20棟設置しました。



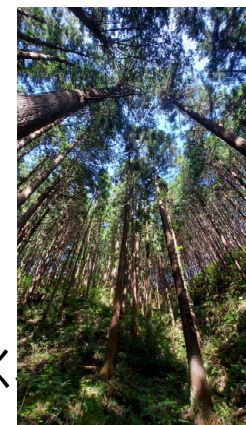
今後のチャレンジ

豊かな森林を未来へ

持続可能な森林サイクル構築の為、
森林経営計画の検討

森林機能を高め、価値向上へ

山元の持続可能な経営を支援すべく
新たな機能・価値提供の検討



「モクタス」による木材利用普及活動の継続

「モクタス」誌による情報の発信
展示会等への出展による普及活動

課題・連携協力の可能性

- ・木造建築のコスト低減
- ・効率的なサプライチェーンの構築による連携

関連情報

モクタス（木造・木質建築）ホームページ <https://www.tokyu-cnst.co.jp/moctas/>
東急建設(株)ホームページ <https://www.tokyu-cnst.co.jp/>





ウッド・チェンジ・アクション

ナイス本社ビル 外装木質化_第二弾



◀ 外装木質化_第一弾

昨年11月の外装木質化に続き、国産針葉樹のオリジナル素材を外装に使用する第二弾。

前回よりもさらに圧縮率を高めた素材など、新素材も取り入れ、工法や耐候性の検証、経年変化を観察。外装木質化の普及による木材利用促進の貢献を目指す。

木と暮らしの博覧会



非住宅空間展示
(学校/オフィス) ▶

パシフィコ横浜で開催したナイス主催の博覧会。国産材の循環利用をリング状の展示で表現。オフィス、学校、店舗、福祉施設の4つの空間展示で、非住宅木質化を訴求。

今後のチャレンジ

非建築領域の木質化

住宅・非住宅の木質化のみならず、家具、トラックボディ、生活用品等、建築以外の領域の木質化にチャレンジ。木材の更なる可能性を追求し、国産材のシェア拡大と価値の向上に取り組んでいく。

【木材利用促進月間等での取組】

10/ 9-11 「GARDEX」出展

10/24-25 「東京の木 多摩産材

利用拡大フェア 2024」出展

11/27-28 「木と暮らしの博覧会」開催

課題・連携協力の可能性

全国各地の地域材を活用した表層圧密材 Gywood®の生産を中心とした、ご当地サプライチェーンの構築。

関連情報

表層圧密テクノロジー Gywood® : <https://gywood-muku.jp/>

大径木高耐久赤身材 ObiRED® : <https://obired.jp/>

ナイス株式会社 ホームページ : <https://www.nice.co.jp/>



Gywood®HP



前田建設工業株式会社

ウッド・チェンジ・アクション

■ 木を活かしたプロジェクトの用途が広がっています。



フレンシア青葉台



株式会社龍角散令和ホール

■ WC協議会でのホテル
試設計を展示会で紹介



令和6年5月30、31日非住宅木造フェア出展

■ 生物多様性と木材
利用のかかわりを発信



いま私たちにできることシリーズ



今後のチャレンジ

広葉樹の森が豊かな岐阜県飛騨市と、今年8月に地域連携協定を締結しました。それぞれが持つ資源を活かしながら新たな価値を生み出していきます。



令和6年8月9日連携協定締結式

＜連携事項＞

1. 地域固有の資源を生かしたまちづくり
2. 地域文化の尊重・活用と町並みの保全
3. CN、SDGs、NPに向けたまちづくり
4. 持続可能な地域づくりを牽引する人材の育成
5. 森林、林業に関する賑わいの創出、魅力の発信
6. 地域資源の活用を通じた子ども・子育て支援

課題・連携協力の可能性



飛騨市の地域連携協定をベースに、地域の事業者とも連携して森を育み木材を活かす取り組みを推進し、地域課題の解決の取組ます。

関連情報



木で建ててみよう 前田建設×木

木で建ててみよう | 前田建設×木 (kidetatetemiyou.com)



私たちは木で建てることを通じて多面的に社会とかかわり、木に寄り添いながら新しい価値を作り出していきたいと考えています



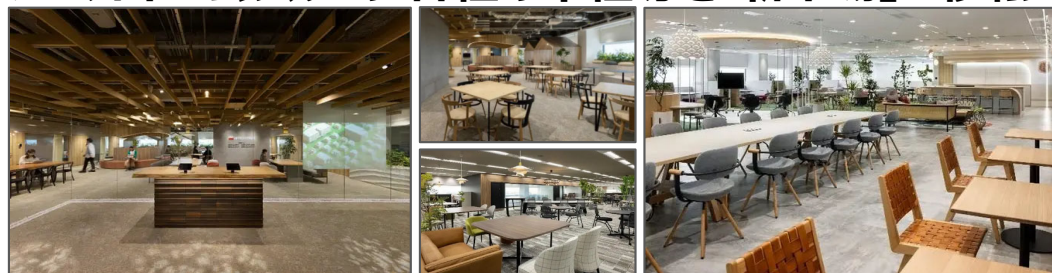
ウッド・チェンジ・アクション

◆技術ブランド「MOCX」の誕生

独自技術で街の様々な建物を木造化させる意味を含めた木造(モク)とトランスフォーメーション(X) から成る技術ブランド名。MOCX技術を活用し、サステナブル社会の実現に貢献する。
【代表的なMOCX技術】

- ・MOCX WALL (モクス ウォール) : 高強度耐力壁
- ・MOCX ROOF (モクス ルーフ) : トラスを組み合わせた高断熱屋根パネル
- ・MOCX THERMO (モクス サーモ) : 超高断熱住宅※断熱等級7

◆三井ホームグループ各社の本社等を「新木場」へ移転



モクスコム

MOCXDOM

MOCX+COMPASS (羅針盤) ⇒ MOCXDOM

プロジェクトコンセプトのロゴ

MOCX : 「木造」「トランスフォーメーション(X)」
※独自技術で街の様々な建物を木造化させる意味

COM : 「羅針盤 (COMPASS)」

この新本社が、これからの三井ホームグループの未来に向けた変革の羅針盤となるという想いが込められている

木材活用や廃材利用等によるサステナブルな空間を基盤にグループ連携によるオープンイノベーションの創出を目指す

進化の先の、木造建築。

MOCX

今後のチャレンジ

◆技術ブランド「MOCX」の展開

建物の木造化を進めるための最適解の提供に向け、MOCXを活用し、あらゆる建物の木造化に挑戦する。

◆国産材ネイルプレートトラスの施工実績の拡大
枠組壁工法用製材限定のネイルプレートトラスを、在来工法向けの製材で製造し構造性能を実証。大断面集成材を使わずに製材による大スパン架構の実現で、各地域での地産地消の実現に貢献。

【木材利用促進月間等での取組】

◆関西 非住宅木造建築フェア2024に出展予定
2024年11月7日(木)～8日(金)

課題・連携協力の可能性

◆独自技術「MOCX」の研鑽により、中低層建築物の木造化に貢献し、脱炭素社会の実現を図る。

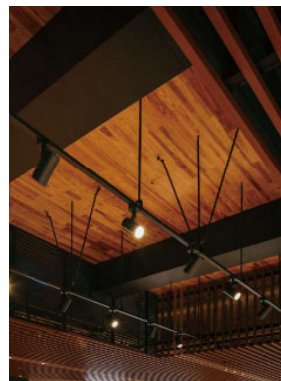
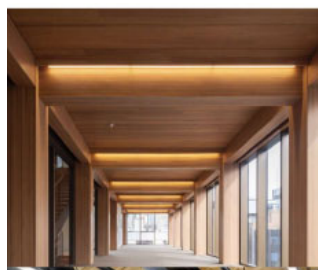
◆枠組壁工法の原単位の算出に関与し、LCA算出データの具体化に寄与する。

関連情報

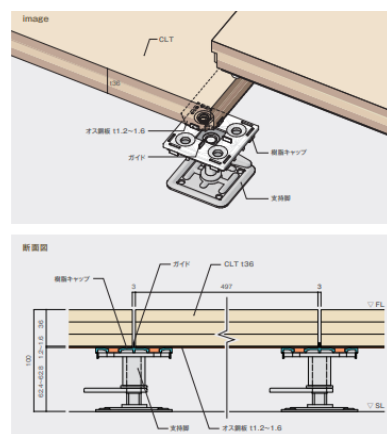
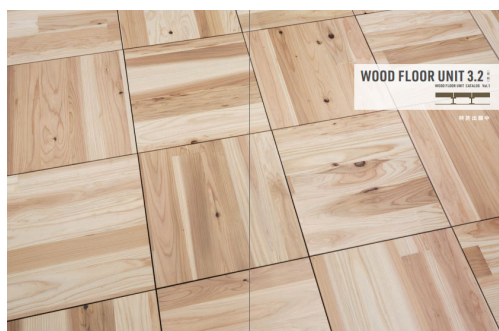
- ・2024. 5. 29 ニュースリリース 『木の街「新木場」に三井ホームグループ各社の本社等を移転』 ⇒ [リンク先](#)
- ・2024. 2. 29 ニュースリリース 『木造化技術ブランド「MOCX (モクス)」誕生』 ⇒ [リンク先](#)
- ・2024. 2. 29 ニュースリリース 『三井ホーム初 断熱等級7の住まい「MOCX THERMO(モクスサーモ)」誕生』 ⇒ [リンク](#)



ウッド・チェンジ・アクション



型枠材兼仕上げ材の「MIデッキ」を様々な案件へ採用



2024年5月 新商品WOOD FLOOR UNIT3.2を発表

今後のチャレンジ

- ・CLT等を活用した新たな木質建材商品の開発、販売（MEC Industry株）
- ・ 2024年7月に新生「三菱地所ウッドビルド」（旧三菱地所住宅加工センター）誕生！
住宅のみならず、非住宅木造建築の施工体制を充実

【木材利用促進月間等での取組】

関西 非住宅木造建築フェア2024に出展予定
2024年11月7日～8日
三菱地所・三菱地所ウッドビルド・三菱地所ホーム

課題・連携協力の可能性

木材調達～加工・製造～設計～施工～案件開発までを三菱地所グループにより一気通貫で対応

グループ案件以外とも連携を進める

関連情報

MEC Industry(株): <https://www.mec-industry.com/>

三菱地所ウッドビルド(株) : https://www.mjwb.co.jp/news/information_240627.pdf



ウッド・チェンジ・アクション

国内最大・最高層の木造賃貸オフィスビル着工

「日本橋に森をつくる」というコンセプトのもと、木造オフィスビルならではの新たな価値創造に挑戦



▲（仮称）日本橋本町一丁目3番計画
外観 完成予想パース

- ・ 地上18階建、高さ84m、延床面積約28,000㎡の**国内最大・最高層**となる木造賃貸オフィスビル
- ・ **国内初適用となる木造・耐火技術**を多数導入し、**1,100㎡超**の国産木材を構造材に使用
- ・ 同規模の一般的な鉄骨造オフィスビルと比較して、**建築時CO₂排出量約30%の削減効果**を想定
- ・ 木ならではのやすらぎとぬくもりを五感で感じられる空間を創出し、生産性の向上等、木造オフィスビルだからこそ実現できる「**行きたくなるオフィス**」を目指す

2026年度竣工予定

今後のチャレンジ

三井不動産グループが北海道に保有する森林約5,000haの木材の一部を構造材および内装・仕上げ材に使用
「植える→育てる→使う」のサイクルによる“終わらない森”創りに取り組む



▲エントランスホール 完成予想パース

課題・連携協力の可能性

- ・ 竹中工務店と連携し、森林資源の循環を目指す企業として、お互いのノウハウを集結させ、本計画の検討を推進
- ・ 主要な構造部材には竹中工務店が開発した耐火集成材「燃エンウッド」を採用

関連情報

国内最大・最高層の木造賃貸オフィスビル着工

「日本橋に森をつくる」「終わらない森」創りを通じた持続可能な社会の実現に貢献

https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2024/0111_01/

（2024.1.11ニュースリリース）

33



ウッド・チェンジ・アクション

【岡山県産材をはじめとする国産木材の積極活用推進】

・主力商品の戸建てへCLT活用を広げていく。土台・羽柄に加え柱、CLT耐力壁への積極採用を10月より開始。年間2,000m³を超える国産材活用を近い将来見込んでいる。同様に木造非住宅・CLT構造建築へも従来通り推進していく

➡ カーボンニュートラルの実現や林業・木材産業の活性化をはじめ、SDGs等に貢献していく。

【西栗倉村にて主に若手社員による森林保全活動・啓発】

・社員向けに森林研修を毎年開催
・持ち帰った苗木を保育し、建材になるまでの過程を学ぶ
・2年前に持ち帰った苗を植林へと。社員の森林保全意識を高める。

➡ 森林問題・循環型社会への理解を、社員の得た意義を一般ユーザーへと伝え続け森林保全と建築物活用との繋がりをや脱炭素への貢献意識を広める。

今後のチャレンジ

商品のみならず、関わる一人一人に森林保全への繋がりを意識してもらえる活動を更に推進していく。スギ・ヒノキの特性を生かした活用法を戸建て住宅で定着させ、新たな建築カテゴリーを生んでいく。

【イベント情報】

1岡山県・広島県・香川県にて職人祭りを年間6か所で開催。国産木材との触れ合いの中で、意義を訴えていく。

課題・連携協力の可能性

CLTと関わって10年になるが、認知の低さを今でも大いに感じている。主に非住宅へ活用してきたが、一般への広報力が弱い。今後戸建てへの活用で、認知を大いに高めたい。

関連情報

【ホームページ】 <https://lifedesign-kabaya.co.jp/>

【プレスリリース】 <https://lifedesign-kabaya.co.jp/news/press/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/lifedesignkabayaFAN/>



ウッド・チェンジ・アクション

地方ビルダー・工務店を中心にCLT活用ネットワークを構築し、CLT活用建築の推進・ノウハウの共有を図る。その中で得た情報・コスト感を検証し、適材適所・有用なCLTの活用法を図っていく。

11/2千葉県匝瑳市にてホンダカーズショールーム完成見学会を開催。営業・構造設計・工事監理からの説明会を同時開催。



今後のチャレンジ

1. 地方工務店でも大きな障壁無く、木造住宅へ取り組んでいけるノウハウをCLT非住宅建築のカテゴリーで構築し、更なるマニュアル化を進める。
また、中層建築物へのCLT活用も道筋を立てたい。
2. 戸建住宅へのCLT活用ネットワークを新たに推進していく。自社含め全国で年間3,000m³を超える国産材活用へ繋げていく。



課題・連携協力の可能性

CLT建築物は以前西日本中心であったが、現在は東日本の案件が増加傾向。その中の課題として、輸送コストを感じている。東日本でのマザーボード供給を期待したい。

関連情報

【ホームページ】<https://nc-labo.jp/>

【Facebook】<https://www.facebook.com/ncIFAN/>

【X】https://twitter.com/Nippon_CLT_labo



ウッド・チェンジ・アクション

川上から川下をつなぐウッドコーディネーション

木造・木質化建築を行う設計者に対して、法令や木の特性に関するアドバイスを行い、設計者の木材に対する理解度を高めるとともに、川上側へのヒアリングを通じて相互の課題を認識し、連携・協力を促進する取り組みを行っている。

「つな木」の地域協力店募集開始

木質ユニット「つな木」シリーズの地域の木材事業者との協力・連携を開始

各地イベントへの参加・被災地への復興支援

能登・門前にて震災復興支援のためにベンチや屋台をイベントで使用した木を再利用し地域住民とつな木を制作



日比谷イベント | 木と生きる



WOOD DESIGN EXPERIENCE



つな木 x 能登復興支援

今後のチャレンジ

- ・ 森林資源の循環、国土の保全を目的とした
都市・建築の木質化の研究および実践
- ・ 中大規模における**木造・木質化建築の設計**
- ・ **木造・木質化のコンサルティング**
- ・ 川上・川中・川下をつなぐ**ウッドコーディネーション**
- ・ 木質ユニット「つな木」の普及
- ・ **木育ワークショップ**の開催

課題・連携協力の可能性

- ・ 川上・川中・川下のサプライチェーンとの連携協力
- ・ 中大規模木造・木質化設計者の育成

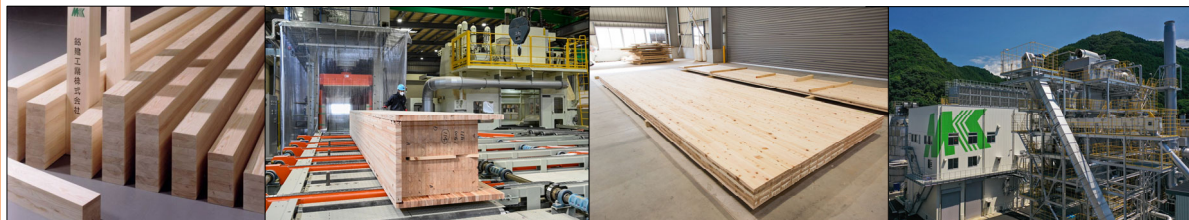
関連情報

Nikken Wood Lab : <https://www.nikken.co.jp/ja/insights/tsunagi.html>
つな木 : <https://tsunagi-wood.jp/>



ウッド・チェンジ・アクション

これまでも木材利用をより広い範囲に広げるため、集成材やCLTの製造・加工、中・大木造建築の設計から施工まで手掛けてきた。木造ビルなど中・大規模建築で利用されるCLTの普及と超大型集成材の製造設備導入で、国産材利用と木造建築を推進する。



住宅用集成材
トップクラスのメーカー

超大型集成材設備
木造ビル等で使われる
巨大な木の柱を製造可能

CLTの製造・加工
国産材を活用し、
木造建築を推進

木質バイオマス発電設備
工場から出た木くずで発電

自社製品である集成材、CLTが使われた事務所兼ショールームが2020年に竣工。バイオマスも含めた木材利用を知ってもらう拠点に。



本社事務所（外観）
2020年竣工

本社事務所（内観）
集成材とCLTの事務所

本社事務所
小学生見学の様子

今後のチャレンジ

- ・非住宅用集成材とCLTの年間製造量アップ
- ・岡山SDGs広域体感ツアー参画

【木材利用促進月間等での取組】

- ・「非住宅木造建築フェア2024関西展」への出展

課題・連携協力の可能性

CLTについて、設計者を中心により多くの人に知ってもらうための取り組み、使いやすい仕組み作りを推進する

ゼネコンや住宅会社との共同開発を積極的に進める

関連情報

銘建工業webサイト webカタログ (<https://www.meikenkogyo.com/catalog/>)
銘建工業オフィスツアー動画 (<https://www.youtube.com/watch?v=YIRaouT6j-4>)



ウッド・チェンジ・アクション

CLT（直交集成板）等を用いた建築の普及に向けて

①CLTの製造基準・性能基準に関するデータを整備

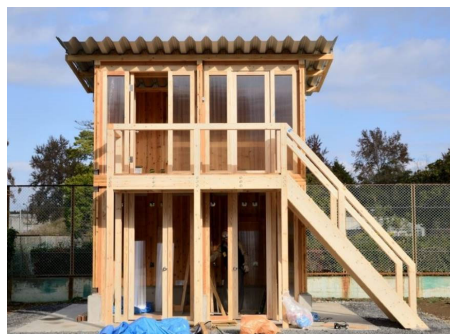
→従来より短く効率的なマイクロフィンガージョイント技術を開発。9層9プライ構成の長期挙動・非等厚構成の強度性能の解明を実施中。JAS、CLTパネル工法の告示の改正に貢献。



9層9プライCLTの長期挙動の測定

②CLTの製造コスト・施工コスト削減のための技術を開発

→製品寸法の標準化、接着工程等の最適化、施工方法・耐火部材等の開発、LCA評価による環境影響優位性を実証。



CLT建築の施工コストを建物で実証

③大断面集成材の低コスト化技術の開発

→原木伐出技術、一般流通材のラミナ利用、乾燥法・接着剤の変更等により生産コスト削減。

今後のチャレンジ

用途に応じた木材製品の安定供給に向けて

大径材の加工・流通システムの開発、国産早生樹種等の材質・加工特性の解明と利活用技術の開発

非住宅・中高層建築物等への利用拡大に向けて

CLTの利活用技術や新たな木質材料の開発、木質材料・木質構造の性能維持管理技術・耐久性・安全性の高度化、木材ならではの快適性・健康機能・環境優位性の創出

【木材利用促進月間等での取組】

・公開講演会「生物機能を活用した木材の利用」を開催（10月2日（水）13時より 一橋講堂）

課題・連携協力の可能性

- ・新規木質材料の製造技術の小規模実証
- ・新規木質材料およびそれらを用いた木質構造の実大性能の評価
- ・木質構造・木質空間の良さの科学的解明

関連情報 研究成果選集①<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/seikasenshu/2022/documents/p32-33.pdf>
②<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/seikasenshu/2020/documents/p30-31.pdf>
③<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/seikasenshu/2021/documents/p30-31.pdf>



ウッド・チェンジ協議会の取組に関する資料は
林野庁ホームページにて御覧いただけます。
是非とも、御覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wckyougikai.html>

